

(4) 類似事業の有無

- ・ 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	337	医療提供体制推進事業費補助金
合計	337	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

- ・災害時における患者受入れの中心となる医療機関の医療提供体制の確保のため必要な非常用通信設備の整備を目的として、令和3年度に創設された国庫補助金。

(2) 後年度の財政負担

- ・災害時における医療体制の確保のため、通信設備の確保は必要不可欠であり、県の負担は妥当。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 災害時に各圏域の医療体制の中核を担う県内医療機関において、大規模災害時に多発する患者の受け入れ体制を整える。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

医療機関等の計画に基づく設備整備に対する補助であるため、目標の設定ができない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価)	3
災害時における患者受入れの中心となる医療機関の医療提供体制の確保のため必要な設備整備を行うものであり、事業の必要性が高いと言える。	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 必要な設備の整備後は、災害時の患者受け入れ体制の維持のための訓練等を行っていく必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後も必要な通信設備の整備が必要な医療機関に対しては、引き続き支援していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	